

YOSHIDA GROUP MEETING

5W1H

26/5/2016 -

AYUKI KAMADA 2013

『自分の研究を進める上でのペースメーカーという役割と、
研究上起こる問題を皆で共有し考える場という役割があると思います。

ですので、例え研究が上手く言っていなかったとしても、
(むしろ上手くいっていない時こそ) よくない結果が出る時に
自分の踏んだプロセスを論理的に説明してもらえればいいのでは
ないかと思っています。』

WHY YOSHIDA GROUP MEETING?

学生同士で自助努力をし，研究を円滑に進める。

- 共同研究者との議論の前のワンクッションとしても使える（=完璧に準備する必要はない！）
とくに吉田研は，吉田さん以外の共同研究者と主体的に研究する人が多い．
進捗報告をするタイミング？ どのレベルで持っていくか？ どんな風に，誰に報告するか？
→ どんな研究環境の吉田研メンバーでも円滑に研究できるシステムになれば，この会は成功。
このスライドをベースに決まりごとを更新して行って後世に残せれば，と考えています。

お互いの研究を知り，自分の研究の肥やしにする。

- 机が隣にあっても世間話的に研究の話をしてない世代?? 東大生はセミナー中に大人しすぎる??
→ 吉田研はそんなことない，と言いたい。
- やっぱりすごい研究者は，専門外の分野の話題にもついていける。
→ UTAPIは，そういう力を育める貴重な研究環境がある。

WHAT IS YOSHIDA GROUP MEETING ?

吉田研の学生主体で開催される，情報交換と進捗報告の為のミーティング。
参加すると研究生活に必要な問題解決能力・説明能力・コメント力などが育まれる（はず）。

前回発表したミーティング以降にやったことのうち，

- ・研究生活の進捗 **報告**
- ・研究室単位での **連絡事項**
- ・問題を抱えていることに関する **相談**
- ・参加者の研究生活に役立つこと

などの発表が推奨されます（2016年5月26日現在；最初はあえてラフに，抽象的にしています）。

PD以上の皆さんはそのサポート役 + お手本役になります。

WHO, WHEN, WHERE & HOW ??

- ・M1以上の広義の吉田研メンバーで，自由参加で，発表もしたい人がします。
- ・毎週木曜日，吉田研スタッフ(PD以上)ミーティングの後
 - スタッフミーティングにも参加してお手本にしましょう。
 - 1時間程度を目安に終えます。
- ・場所は908をデフォルトにします。
- ・使用言語は日本語だが，後期から英語になるかも
- ・パソコンか印刷物を持参が基本で，手ぶらの人は板書で説明してください。
- ・発表の準備に時間をかける必要はありません。
- ・発表したい人 → 学年が低い人から順番に発表します。・進行役は持ち回りにします
- ・吉田さんとの議論は，引き続き各自で行ってください。・机は四角く並べて座ります。
- ・発表した人は自分のパートの議事録を wikiにup
- ・進行役はまとめを utap wikiにのせて，次の進行にボタンタッチしてください。